

「機能性バイオ・第1回ピッチ会」



日時：2月19日（金）15：00～16：45

参加資格：機能性バイオ協議会メンバー

★出席するには「秘密保持に関する直筆サイン入り誓約書」の提出が必要です★

発表者：機能性バイオに参画している大学・国研・企業の共同研究責任者

形式：Zoomミーティング

主催：JST/OPERA機能性バイオ協議会

15:00～15:05 『はじめに』

領域統括：三谷 啓志（東京大学・新領域創成科学研究科）

◆ 前半：課題 1・課題 3 ◆

【課題 1 微細藻類3,000株スクリーニングと変異導入による高生産株】

15:05～15:10 『国立環境研究所における藻類リソースの活用例』 <A+B>

課題1-1：河地 正伸（環境研究所・生物・生態系環境研究センター）

15:10～15:15 『DCクロレラと加速器質量分析を用いた新たな炭素標識法』

課題1：河野 重行（東京大学・フューチャーセンター推進機構）

15:15～15:20 『ミドリムシのゲノム編集と関連技術』 <A>

課題1-3：持田 恵一（理化学研究所・バトンゾーン研究推進プログラム）

15:20～15:25 『緑藻ヒトエグサの陸上養殖技術開発』 <A>

課題1-8：木下 優太郎（理研食品株式会社・原料事業グループ/高知大学）

15:20～15:25 『単細胞紅藻ガルデリアの高密度培養技術の開発』

課題1-9：宮城島 進也（遺伝学研究所・遺伝形質研究系）

【課題 3 触媒化学による微細藻類バイオマスからの燃料と機能性化学】

15:25～15:30 『藻類残渣からのプラスチック合成』 <A>

課題3-1：富永 健一（産業技術総合研究所・食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ）

15:30～15:35 『マイクロリアクターによる植物油のメチルエステル化』 <A>

課題3-2：鳥居 徹（東京大学・フューチャーセンター推進機構）

15:35～15:40 『高温高压状態の水を利用した微細藻類抽出残渣処理法』 <A>（ビデオ）

課題3-3：秋月 信（東京大学・大学院新領域創成科学研究科）

15:40～15:50 質疑応答（前半）

～ 15:50～16:00 コーヒーブレイク ～

◆ 後半：課題 4・課題 5・課題 2 ◆

【課題 4 機能性試験と新規成分抽出法の確立と機能性素材の開発と応用】

16:00～16:05 『藻類成分の機能性メカニズム解明と物理化学特性解析』 <A>
課題4-6,4-9：高橋 真哉（筑波大学・生命環境系）

16:05～16:10 『微細藻TEPMOの機能性メカニズム解明に向けて』 <企業紹介>
課題4-9,4-10：野崎 広之（東京電力HD(株)・技術戦略ユニット 技術統括室
／経営技術戦略研究所）

16:10～16:15 『微細藻類ユーグレナを用いた臨床研究：睡眠・ストレス応答・腸内環境への
効果』 <A>
課題4-7：吉田 崇将（東洋大学・理工学部生体医工学科）

【課題 5 バイオエコノミーと市場調査：機能性バイオによる低炭素社会の実現】

16:15～16:20 『脱炭素社会における微細藻バイオマスの可能性』 <A>
課題5-2：吉田好邦（東京大学・大学院工学系研究科）

【課題 2 閉鎖系バイオリアクターによる微細藻類の培養と回収】

16:20～16:25 『アルガルバイオの培養技術センターとバイオリアクター』 <A>
課題2：竹下 毅（株アルガルバイオ・代表取締役社長）

16:25～16:30 『曝気レスCO₂供給システムによる最適CO₂濃度における微細藻類の大量培
養』 <A>
課題2-1：山村 寛（中央大学・理工学部・人間総合理工学科）

16:30～16:40 質疑応答（後半 & 全体）

16:40～16:45 『おわりに』
渉外対策部門リーダー：河野 重行（東京大学・フューチャーセンター推進機構）

◇発表タイプ◇

- A) OPERA機能性バイオで進行中の共同研究について、協議会内で公表できる範囲で進捗報告と今後の方針を発表する。
- B) 共同研究先の企業を探したい、新たなテーマに取り組みたい、研究成果を応用させる相手先を探したい、など。今後の新たな展開に向けてアピールしたいシーズを発表する。（一般的なピッチ会のイメージ）

<事務局>

東京大学・新領域・JST/OPERA機能性バイオ共創コンソ推進室
細川 聡子<satoko_hosokawa@edu.k.u-tokyo.ac.jp>
平野 滝子<takiko_hirano@edu.k.u-tokyo.ac.jp>